

広報

あしや

No.1133 平成26年 (2014年)

6月1日号 毎月1日・15日発行

Garden City Ashiya

発行/ 芦屋市役所(広報国際交流課) TEL.0797-31-2121/FAX.0797-38-2152 〒659-8501兵庫県芦屋市精道町7番6号 ホームページ http://www.city.ashiya.lg.jp/ メールアドレス info@city.ashiya.lg.jp



庭園都市芦屋へ



奥池・奥山貯水池

開森橋から県道を北へ。芦有ゲートから緑いっぱい道を行けば、山懐に抱かれた「奥池・奥山貯水池」があります。江戸時代(天保12年・1841年)に水不足で苦しむ村人を救うため、猿丸又左衛門安時が約20年の月日をかけて開き出した「奥池」、昭和47年に隣に完成した「奥山貯水池」。ともに、本市の自己水源の一つとして活用されています。

緊急地震速報の訓練に参加しましょう！ 問い合わせ 防災安全課 ☎38-2093

■日時 6月5日(木)午前10時15分ごろ ■場所 市内全域※当日は市内各所に設置してある屋外スピーカーおよび戸別受信機から、放送が流れますのでご了承ください。■申し込み 市ホームページまたは下記から申し込みをしてください。

パソコン https://e-hyogo.elg-front.jp/uketsuke/dform.do?id=1398920149545 携帯電話 https://e-hyogo.elg-front.jp/uketsuke/iform.do?id=1398920149545 スマートフォン https://e-hyogo.elg-front.jp/uketsuke/sform.do?id=1398920149545

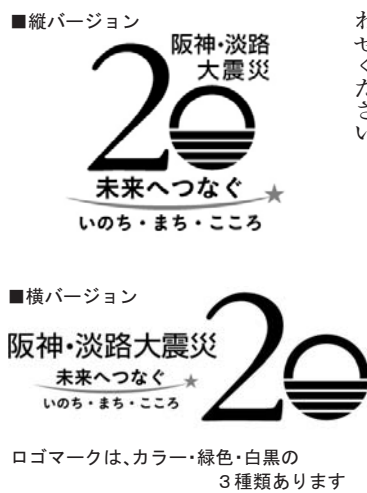
《緊急地震速報とは》 地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。《緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの?》 緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、周りの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。屋外スピーカーおよび戸別受信機からの放送を合図に自分の身を守るためのシェイクアウト訓練を行きましょう。

平成26年度 防災記念講演

■日時 6月13日(金)午後4時~5時 ■会場 消防庁舎3階多目的ホール ■内容 「芦屋市における地震津波防災講話」 ■定員 90人程度 ■講師 防災安全課職員 ※駐車場・駐輪場はありませんので、最寄りの交通機関をご利用ください。

問い合わせ 消防本部予防課 ☎38-2098

「未来へつなぐ」 ~いのち・まち・こころ~



【「芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業」冠・ロゴマークをご利用ください】 事業の趣旨に賛同し、市が定めるコンセプトに沿った市民団体主催の事業については、「芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業」の冠とロゴマークを使用できます。 ※一定の条件がありますので、右記までお問い合わせください。

平成27年1月17日は阪神・淡路大震災から20年の節目にあたります。本市では震災の犠牲になつたかたがたへの哀悼の意を表するとともに、震災で得た経験と教訓を次世代に継承し、災害に強いまちづくりを進めるため「芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業」を実施します。 年間を通じて震災の記憶や経験を伝え、防災を考えるさまざまな事業を実施するほか、市民が取り組む追悼・防災事業をさまざまな形で応援します。

芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業を実施します

問い合わせ 企画課 ☎38-2127

【1.17あしやフェニックス基金助成金をご利用ください】

市民グループの皆さんによる、阪神・淡路大震災の経験と教訓の継承や、防災に関連する取り組みに対し、一定の条件を満たすものにつき助成しますので、ご利用ください。(助成が認められた事業につきましては、「芦屋市阪神・淡路大震災20周年事業」の冠とロゴマークを使用させていただきます。) ※助成の条件等詳細については、右記へお問い合わせください。